

平成26年度 吹田市教育研究大会報告

平成26年11月27日発行 吹田市教育研究大会実行委員会事務局

8月26日(火)に平成26年度吹田市教育研究大会を実施しました。本大会は、市内全ての教職員が一同に会し、教育委員のみなさまと顔を合わせ、吹田市の教育の方向性を共通理解する場として平成19年度に始まりました。以降、会の形式は変更しながら本年度まで続いています。今年度も「今 吹田から 未来(あす)の力を ～地域に根ざした質の高い公教育の創造～」をメインテーマとし、重点課題である「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成」をサブテーマに据え、全員参加の講演会を昨年度に引き続き行いました。



以下に教育委員メッセージと竹内教授の講演の要旨を紹介します。

〔教育委員メッセージ〕

大谷委員長

昨今、教育界は大きな動きの中にあり、その動きの中で、吹田市では「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成」をテーマに取り組んでいます。「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力」とは、「世の中のことに広く関心を持ち、他者と積極的に関わる中で、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見に耳を傾けたりする力」だと私は考えています。吹田の子どもたちが、様々な言葉や文化を越えて、多くの人々と理解しあい、結びついていけるような子に育っていくことを期待しています。そして2020年東京オリンピックに、吹田で育ち学んだ子どもたちが出場するというのも夢ではないと思います。教職員のみなさんが、今日の大会での学びを持ち帰り、日々の指導に活かしていただくことを期待しています。

河内委員長職務代理者

2学期が始まったばかりの忙しい中、たくさんの先生方が勉強のために集まっている姿に感動しています。年に一度の教職員の研修の場で、私たち教育委員も一緒に、吹田の教育について学びたいと思います。これからの時間、一緒に学んでいきましょう。

宮下委員

教育委員になって今年で6年になりますが、その間教科書採択に3回関わり、小学校・中学校の教科書を読んできました。小学校・中学校というのはとても大切なことを教わっているんだなとしみじみ思います。先生方も、子どもたちが「もっと学びたい」「知りたい」と思える授業を目指して頑張ってください。教育委員として、ひとりの保護者として、先生方を応援しています。

鈴木委員

私の研究室に「将来先生になりたい」という学生がいます。理由を聞くと「小学校、中学校、高校の時に“こんな先生になりたい”と思える先生がいた」とのこと。私たちや先生方が考えている以上に、児童生徒というのは先生の背中を見ながら日々過ごしているのだということ、改めて実感させられました。先生方、どうか今後も児童生徒一人ひとりを見据えて、毎日の教育活動に励んでいってください。

谷口委員

私は歯医者で、吹田市の小学校をもう30年近く担当しています。様々な形で学校現場に行っていますが、一番うれしいのは、子どもたちの明るい笑顔です。吹田の子どもたちの笑顔が輝く、いじめなど考えられない、そういう教育現場にしていきたいと考えています。そのために先生方に頑張っていただきたい。私自身も、教育現場を支えていく形で頑張りたいと思っています。

〔竹内教授 講演会要旨〕

「グローバル」とは、世界が共通の原理原則で、地球や地域について考えていく社会です。誰かが勝ったら誰かが負けるというゼロサム社会ではなく、みんなが Win-Win になり共存共栄する社会を言います。

グローバル社会に生きる「グローバル人材」とは、「インターナショナルな人」「英語が話せる人」「世界で勝てる人」で

はなく、どの国に行っても自分で目的を定めて達成することができる人、自分の力を発揮し世界全体のことを考えて動くことができる人のことです。

グローバル人材に最も必要な力は、「agency(主体的選択能力)」です。「目的」「技能+教養+意志」「体験」の3つがそろって初めてagencyが身につきます。「技能」には、自己管理能力、コミュニケーション力、外国語、論理思考、言語技術が挙げられます。これらはすべて学校教育で身につけさせ、育てることができます。しかしそれは英語科だけで育てるものではなく、小学校だけ、中学校だけで育てるものでもありません。幼・小・中を通じて、いろんな教科、いろんな校種で総合的に育てていくものです。

みなさん、それぞれの校種で、子どもたちにagencyを身につけさせる教育を展開していきましょう。



〔梶谷教育長 閉会あいさつ〕

吹田は「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成」という大きなテーマを掲げながら、様々な取り組みを進めている。今日の講演から、「グローバル人材の育成」という言葉は、子どもたちの持つたくさんの可能性と力の育成を意味しているということ、またその可能性と力は、幼稚園・小学校・中学校が一つになって、すべての教育活動の中で培っていくものだということを改めて教えてもらった。吹田の教職員がここに集まり、これから目指すべき方向を確認できたと思う。今日の学びを、みなさん一人一人が明日からの実践に活かし、それぞれの学校・園で切磋琢磨しながら教育活動を充実させていってほしい。

〔研究大会について〕

1. 教育研究大会参加者 1340名 内訳

	幼稚園	小学校	中学校	合計
人数	37人	889人	414人	1340人

2. アンケートについて

■ 回収数 799通 (回収率 59.6%)

■ 設問「教育研究大会の内容について」

項目	人数
とてもよかった	219人
よかった	512人
あまりよくなかった	52人
よくなかった	7人
無答	9人

ー参加者の声からー

- 教育委員の方々の生の声、思いを聞くことができ良かったです。
- 竹内先生の講演は単に英語教育・外国語教育にとどまらず、「人材育成」「人間形成」という教育の根本的なあり方、今後の方向性を様々な側面からご教示いただき、大変素晴らしい。話し合い活動もあり、退屈せずに聞けた。
- 吹田市が力を入れていきたい教育を市内の教員全体に伝える良い機会だと思います。子どもたちのためにも教員が1つの方向性をもって動けるよう今後も様々な形で続けていただけたらと思います。
- 「グローバル」=英語力という考えにとらわれがちですが、本来必要なものは私たちが学校教育で子ども達に教えることが基本にあるということがわかりました。困難にも負けずたくましい子ども達を育てるように明日から取り組んでいきたいと思ひます。
- 幼稚園ではどのようなことが教えられるのか。と具体的に考えることでより身近な課題として考えることができました。
- 初めは「グローバル人材」と聞いて言語活動や国際交流のことだと思ひていましたが、講演を聴いて「人と人とのつながり」を含んでいたり、「自分のことを知る」ことにもつながることを知ったので、学校でも育てられるように工夫していきたい。
- 学校教育の中で、教科等の内容を教えるとともに、しっかりと自己を確立させることにつながる教育を心がけていく必要があると感じました。今日はそれに必要な要素を改めて確認することができました。

内容について

